

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

西部総合事務所県民局 (電話:0859-31-9769)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 大山パークウェイ構 想事業～スローな旅 で元気になろう～	1,700	0	1,700				1,700	
トータルコスト	6,671千円(前年度0千円)							
従事する職員数	正職員:0.6人							
主な業務内容	パークウェイ構想にかかる催事実施、連絡調整							

事業内容の説明

1 1 事業内容の説明

民間主導で進められている大山パークウェイ構想事業を、県内滞在時間の延長と食のみやこ鳥取推進の観点で協調推進するもの。

<事業のねらい>

- ① 蒜山から国立公園大山を經由して美保の関までつながる80キロの絶景ドライブルート
を大山パークウェイと名付け、エリアのブランド化による地域力向上を推進する。
- ② スローライフ・スローフードを打ち出し、地場産業の活性化を目指す。
- ② 「食」と「体験」で泊を延ばし、リピーターとファン層を拡大して、持続する経済
基盤を構築する。

※大山パークウェイ構想とは

道路管理上の理由で名称が統一されていない蒜山から国立公園大山を經由して美保の関までつながる80キロの道路を座標軸に、周辺地域を統一イメージによる地域ブランドとして確立して地域再生の起爆剤とするもの。

2 平成21年度事業費

(単位:千円)

区分	予算額	内 容
旅の専門家による 西部管内観光チェ ック実施事業	700	大山パークウェイをモニタリングして助言を仰ぐために、プロ 集団である日本旅作家協会(兼高かおる会長)の例会を当地に招 致する経費
フードアドバイザー による現地相談 会事業	500	大山パークウェイマップやパンフに掲載していくための地元の 飲食店やメニューのブラッシュアップをはかるために専門家であ るフードアドバイザーを招いて事業者との相談会を開催する経費
連絡調整費	500	関係機関及び関係者との連絡調整経費
計	1,700	